

10.4~
10.28

未来に向けた経営のための基礎知識を学ぶ

次世代ビジネスリーダーのための経営戦略セミナー

次世代を担う中小企業経営者やリーダー層を対象に「新事業開発」「新商品開発」「会計戦略」「人材戦略」をテーマに全4回の連続セミナーを開催した。

第1回の「新事業開発」、第2回の「新商品開発」は、中小企業診断士の茂井康宏氏が講師を務めた。第1回では、「ピボット階層」や“カスタマー・ジャーニー・マップ”などの分析手法による事業開発やブラッシュアップ方法について解説。第2回では、市場動向の把握から商品コンセプトの設定、ブランドネームやパッケージの制作に至る商品開発の一連の流れを詳細に説明した。

第3回の「会計戦略」では、公認会計士の横下伸一郎氏が部門別損益管理や新規参入・撤退判断など、会計を経営管理や意思決定に生かす方法などについて解説した。

第4回の「人材戦略」では、社会保険労務士の藤原良憲氏が生成AIを利用した求人情報の作成やTikTokを用いた自社ブランディングなどデジタルツールを活用した採用・定着支援について取り上げた。

4回のセミナーを通して、参加者からは「実務に役立つ内容が多く、大変有意義だった」との声が寄せられた。



中小企業振興部

11.5

新たなロープウェイ整備などを求める

六甲山・摩耶山の活性化に向けた要望

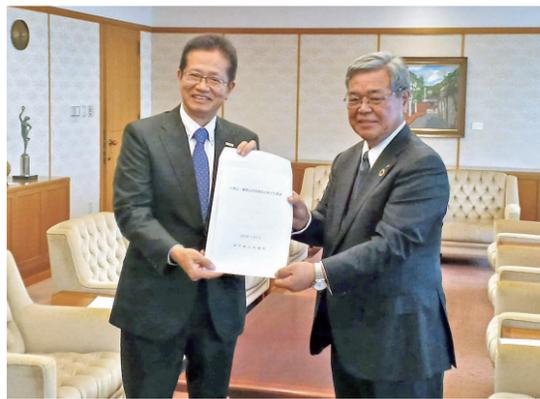
都市力強化委員会は、「六甲山・摩耶山の活性化に向けた要望」を取りまとめ、吉井副会長（委員長）より、今西副市長に要望書を提出した。神戸の六甲山・摩耶山は“都市山”として、インバウンドにも魅力的なコンテンツである一方、従来からアクセス面での課題を抱えている。

本要望では、2024年2月に「六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会」が提言した、布引ハープ園から摩耶山・掬星台に直結するロープウェイ構想の具体推進のほか、六甲山・摩耶山を活用した市民や企業のウェルビーイング実現への支援策を求めた。

加えて、六甲山と摩耶山それぞれのエリアにおける飲食や宿泊など、山上での滞在時間延長に資する賑わい施設の充実や、両エリア間の快適な移動、有馬方面への周遊促進などを見据え

たアクセス整備の検討を求めた。

今西副市長は「大都市に隣接し、自然に恵まれた六甲山・摩耶山は貴重な財産。気軽に山上に上がり、夜景を含む眺望やアクティビティを楽しんでもらえるよう、ポテンシャルを引き出していきたい」と応じた。



ロープウェールートのイメージ

地域政策部

11.7

外国人留学生による企業の課題解決手法を知る

KOBE Innovation Meetup



スタートアップと地元企業の連携を促進するため、グローバルHR分野のスタートアップ、(株)hupodea 代表取締役の奥島輝也氏を招き、「必ずやって来る“人財のグローバル化”今、企業が取り組むべきこと」をテーマにミートアップを開催した。

同社は外国人留学生のスキルや知識を日本企業が活用できるオンラインマーケットを提供。留学生にとっても経済的問題の軽減や日本に溶け込むきっかけになるなどのメリットがある。

参加者からは「海外展開に取り組む上で有意義だった」との感想が寄せられ、活発に交流が行われた。

産業部産業振興チーム

11.15、
11.19

販路拡大に不可欠な品質管理について学ぶ

販路拡大プロジェクト 食品品質管理強化セミナー



中小企業・小規模事業者の販路拡大を支援するため、青柳ニューシングスの和田健太郎氏を講師に迎え、食品の品質管理を学ぶワーキングセミナーと個別相談会を開催した。

和田氏は手洗いなどの基本知識をはじめ、HACCPに基づく食品製造の管理手法、賞味期限の延長方法などについて、過去の重大事故の事例も交えて解説した。

参加者からは「危機管理の重要性や、クレーム対応の考え方を学ぶことができた」「配布された品質基準調査票に基づいて、工場内を点検してみたい」との声が聞かれた。

中央支部

11.12

神戸におけるナイトタイムエコノミーの新たな可能性を探る

観光トレンドセミナー2024



賑わい創出委員会ならびに交通観光部会は、ナイトタイムエコノミーをテーマにセミナーを開催した。

はじめに、(一社)ナイトタイムエコノミー推進協議会代表理事の齋藤貴弘氏と伊藤佳菜氏より、ビジネスとしての可能性や海外の事例などを解説。「神戸には夜景をはじめ多くの魅力がある。街全体で取り組みを発信することで、ナイトタイムエコノミーの活性化につながる」と述べた。

続いて、MPLUSPLUS(株)代表取締役社長の藤本実氏より、クリエイターとして自身が実施したメディアアートイベントの事例を紹介した。

地域政策部

11.15

部門経営者として求められる役割を学ぶ

部長のための業績を上げるマネジメントセミナー



変革型リーダーに必須となる主体性を身につけるため、(株)セルフ・インプルーブ代表取締役の和田勉氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

和田氏はリーダーの掲げるビジョンの重要性を説き、「上司の話が部下が受け入れる土壌作りが組織変革の第一歩。志を明確に持ち、自分の言葉で語ってほしい」と強調した。

参加者からは、「ワークや実体験を踏まえた内容で、部下の成長を助力できるヒントを学ぶことができた」との声が聞かれた。

会員事業部事業推進チーム